

本社敷地内に自家消費型太陽光発電設備を導入

～CO₂排出量の削減により、環境負荷の低減に取り組みます～

レシップホールディングス株式会社（本社：岐阜県本巣市、代表取締役社長：杉本眞）は、本社敷地内に、自家消費型太陽光発電設備を導入し、2020年3月31日より稼働を開始します。

同設備は、本社敷地内に設置し、当社グループの工場にて使用する電力用に、約150,000kWhの年間発電量確保を想定しています。この太陽光発電による再生エネルギーを活用することにより、当社工場におけるCO₂年間排出量の約3.5%にあたる年間約81,000kg-CO₂のCO₂削減を見込んでいます。

また、同設備は、太陽光発電設備とともに、蓄電池を併設しています。蓄電池を組み合わせることで、供給電力を安定させ、電力需給に合わせたエネルギーの有効活用を行うことができます。

当社グループは、「省エネルギー」「地球環境対応」「セキュリティ強化」を通じて、快適な日常を実現するための製品・サービスを社会に提供すること、を経営理念に掲げています。今回の太陽光発電設備の導入は、経営理念に基づく活動の一環であります。

今後も、経営理念に基づき、環境負荷低減に関する取り組みをより一層推進していきます。また、社会の一員として、持続可能な世界の実現に向けSDGsの達成に貢献していきます。



本社敷地内に設置した太陽光発電設備

■ 本件に関するお問い合わせは —
レシップホールディングス株式会社
総務部 広報担当
TEL 058-324-3121 / FAX 058-323-2597
<http://www.lecip.co.jp/hd/>